

新総合体育館 整備基本計画を 策定

豊科南部総合公園にスポーツ推進・健康推進・防災の拠点となる総合体育館を整備する、新総合体育館整備基本計画を本年1月に策定しました。その概要をお知らせします。

策定にあたり、2回の市民説明会や、パブリックコメントでの意見、あるいは市議会からの提言を踏まえ計画をまとめました。計画（案）からの変更点は下記のとおりです。

今後、関連用地の取得と都市計画決定の変更手続きなどを進めながら、基本設計と実施設計をとりまとめ、平成32年度中の完成を目指します。

なお、新総合体育館整備基本計画、市民説明会の意見、パブリックコメントへの回答、市議会からの提言は、市ホームページでご覧いただけます。

図生涯学習スポーツ推進担当
(TEL) 71・2467 (FAX) 71・2338

主な変更点

基本計画（案）（平成28年12月7日発行・広報あづみの240号に概要掲載）からの変更点は次のとおりです。

1 防災機能

豊科南部総合公園の「防災公園」としての機能強化を図るため、公園および新総合体育館の防災機能を追加しました。

2 トレーニング室

軽スポーツやダンス教室など、多目的な用途に対応できるトレーニング室を設置するとしました。

3 施設機能配置のイメージ図（左ページ）

新総合体育館の施設概要を分かりやすくするため、施設機能配置イメージ図を追加しました。

4 財源

本計画に基づき、豊科南部総合公園を拡張できれば、地域防災拠点となる「防災公園」（面積10ha以上）として、国の社会資本整備総合交付金の対象となるため、活用する旨を記載しました。申請については、交付要件を確認し進めていきます。

5 財政負担

市の財政への影響を心配するご意見が多かったことから、建設費用等および財政負担に関する資料を追加しました。

6 管理運営

指定管理者制度の導入または、市が直接行う方法を視野に入れて、今後検討を行うことを追加しました。



市民説明会・パブリックコメントの状況

意見	7～8月 市民説明会	11月 市民説明会	パブリック コメント
意見・提言をいただいた数（人数）	63	41	32
内訳（件数）			
体育館規模について	32	7	16
メイン・サブアリーナについて	0	8	16
その他体育施設について	0	5	7
付帯施設、備品、仕様等について	13	3	62
公園拡張エリアについて	14	4	3
駐車場について	0	2	2
交通アクセスについて	4	5	2
整備費、財源、財政面について	33	15	18
管理運営について	0	6	9
その他	77	33	25
計	173	88	160

要望などの状況

日付	内容	提出者
平成29年1月12日	新総合体育館の規模見直しを求める署名（署名数：1,988）	新総合体育館の広さを見直し隊
2月22日	新総合体育館建設推進に関する要望書（署名数：6,892）	特定非営利活動法人安曇野市体育協会

市議会からの提言（平成29年1月20日）

（合意された意見）

1. トレーニングについては、民間でできるものは民間に任せ、維持管理費の圧縮の点からトレーニング機器は不要と考える。
2. 施設経営については、市の直営と指定管理者の比較を十分行い検討する必要がある。
3. 維持管理費、施設整備費については、今後の財政状況や将来負担を考え、出来る限り圧縮するよう検討を望む。
4. 合併特例債発行期限である平成32年度までには、必ず完成するという担保を示すこと。

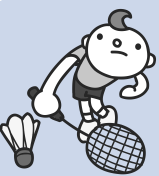
（個別意見の要旨）

1. 総事業費は38億円を上限と、床面積は7,300㎡以下とする。
2. 財源は、合併特例債以外の補助事業等も有効活用する。社会資本整備総合交付金については、用地の早期確保が前提である。
3. 総事業費38億円を超えないように、入札は総合評価方式が望ましい。

新総合体育館の概要

新総合体育館整備にあたり、次の4つのテーマ（キーワード）を踏まえ、機能、規模を設定しました。

4つのテーマ（キーワード）



「する・見る・支える」

- ・スポーツ交流の場としての活用
- ・スポーツ推進イベントの場として利用
- ・スポーツへの関わりの場として利用
- ・中信地区大会や県大会、またはそれ以上の大規模な大会の会場として利用
- ・プロ選手との交流の場として利用



「健康長寿」

- ・日常的なトレーニングの場として活用
- ・ランニングコースとしての活用
- ・健康・体力づくりに励む市民同士の交流拠点のひとつとして活用



「市民交流」

- ・技術力向上に関する各種団体や組織が集い、ふれあい、交流する拠点の一つとして利用
- ・スポーツに限定しない各種イベントや集会の開催
- ・市民が参加する行儀事の開催（成人式や小中学校の音楽会など）

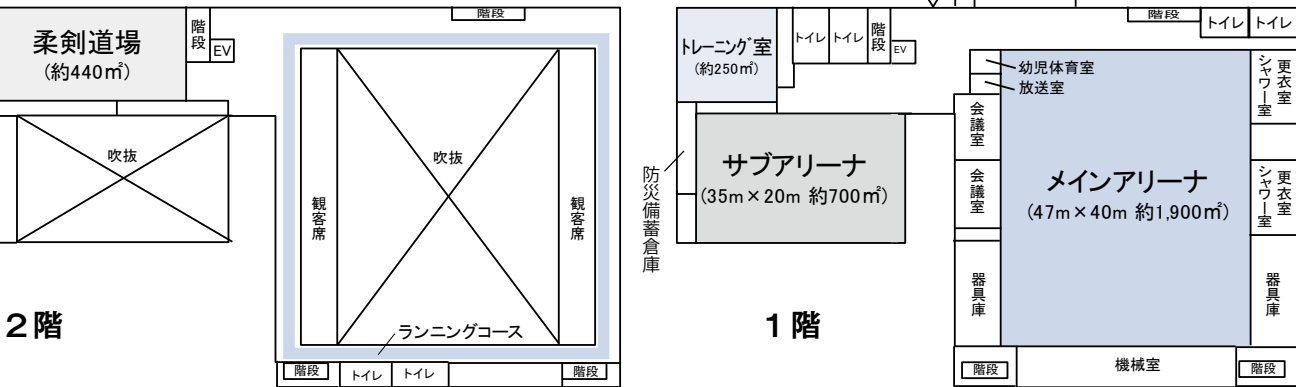


「安全・安心」

- ・指定避難所として指定
- ・防災備蓄倉庫を設置し、必要な資材を備蓄
- ・緊急支援物資の集積場所として利用
- ・サブアリーナに大量の支援物資集積が可能

施設機能配置イメージ図

延べ床面積：約7,300平方メートル



※配置イメージ図は今後の基本設計等により変更となります。

概算事業費と整備スケジュール 関連事業費と合わせて38億円以内を目指します

延べ床面積を約7,300㎡とし、概算事業費は38億円を想定しています。建設工事費とその他の経費の内訳は下記の表のとおりです。（概算事業費は最近の体育館建設事例などを参考に算定を行ったもので、事業費を確定するものではありません）

財源は、国の交付金（社会資本整備総合交付金）や、スポーツ振興くじ助成金、合併特例債等および市の一般財源での対応を想定しています。

なお、合併特例債の発行期限である平成32年度までに工事を完了するために、工期が短縮できるような設計および建設工事の契約方法について検討を進めます。

概算事業費

内 容	事業費
新総合体育館単体の工事費	約33億円
関連整備費（拡張用地費・駐車場整備など）	約5億円
合 計	約38億円

整備スケジュール

	H28	H29	H30	H31	H32
計 画	基本計画				
設 計		基本設計	実施設計		
建設工事				建設工事	